

【報道資料】

平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰



平等院鳳凰堂正面全景 ©平等院

2022年4月23日（土）から6月5日（日）まで、
新潟県立近代美術館（長岡市）にて開催します。

開催趣旨

京都府宇治市に位置する平等院は、ユネスコの世界遺産にも登録される古都京都を代表する名刹です。疫病（天然痘）の流行や地震の頻発、相次ぐ合戦などによって世に不安と混乱が広がりつつあった時代、宇治川沿いにあった貴族の別荘を公卿・藤原道長が譲り受け、「末法初年」とされた1052年、息子の藤原頼通が寺院に改めたものです。現世に極楽浄土を再現するべく壮大な伽藍が整備され、その中心となる鳳凰堂には定朝作の本尊・阿弥陀如来坐像（国宝）を安置し、堂内には鮮やかな彩色による浄土図や来迎図が描かれました。

平等院では近年、創建当初の姿の復元を目指し、鳳凰堂の修理や調査研究が進められています。本展では、雲中供養菩薩像（国宝）に代表される鳳凰堂ゆかりの名品を中心に、調査の過程で発見された貴重な宝物や往時の華麗な堂宇を偲ばせる復元模写・模造、さらには養林庵書院（重要文化財）襖絵など、塔頭の浄土院に伝わる寺宝も紹介します。国風文化と浄土信仰の象徴であり、いにしえから現代までの文化と美が融合する平等院の輝きを、本展を通して感じていただければ幸いです。

開催概要

[会 期] **2022年(令和4) 4月23日(土)～6月5日(日)**

実質41日間

会期中、一部展示替えがあります。

(前期：～5月15日(日)／後期：5月17日(火)～)

[休 館 日] 4月25日(月)、5月16日(月)、5月23日(月)

[開館時間] 9:00～17:00 ※観覧券の販売は16:30まで

[観 覧 料] 当日券 一般1,500(1,300)円 /
大学・高校生1,300(1,100)円 / 中学生以下無料

※()内は有料20名様以上の団体料金です。

※障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。

前売券(一般のみ) 1,300円

販売期間：3月1日(火)～4月22日(金)

各コンビニエンスストア(JTBレジャーチケット 商品番号：0259122)、県内プレイガイドにて

[会 場] 新潟県立近代美術館 企画展示室 [〒940-2083 長岡市千秋3-278-14]

[主 催] 新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、平等院鳳凰堂と浄土院新潟展実行委員会、
読売新聞社、平等院浄土院

[後 援] 新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、(公財)長岡市芸術文化振興財団、
新潟日报社、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7、新潟県仏教会

[協 力] 新潟県立美術館友の会



鳳凰堂の屋上に据えられ、1万円札のデザインにも使われる鳳凰像(国宝、撮影：城野誠治)。本展では昭和43年実際に平等院鳳凰堂に上棟されていた模造(昭和31年制作)を展示します。

平等院とは

- ・平等院は西暦1052年(永承7)に開創され、鳳凰堂は翌1053年(天喜元)に創建。今年、開創から970年を迎えます。
- ・「鳳凰堂」は通称で、正式には「阿弥陀堂」です。鳥が翼を広げたようなお堂の形や、屋根に乗る鳳凰像からそう呼ばれるようになりました。
- ・鳳凰堂は、当時の童唄に「極楽いぶかしくば(疑うなら)宇治のみ寺を礼え(拝みなさい)」と唄われるように、極楽浄土の様子が広がる空間で、その内部は極彩色の壁画・扉画・柱絵などで彩られました。
- ・平安時代には平等院境内に多くの堂塔がありましたが、その後の戦乱や火災などで荒廃し、創建当初の姿をそのまま伝える鳳凰堂を除き、すべて失われてしまいました。
- ・平等院は、当初天台宗寺門派の寺院でしたが、室町時代末期以降、現在に至るまで、^{たっちゅう}塔頭(山内にある院内寺院)である^{さいしやういん}最勝院(天台宗)と浄土院(浄土宗)が共同管理を行っています。
- ・平等院鳳凰堂は、建築自体が国宝となっているほか、阿弥陀如来坐像、雲中供養菩薩像、天蓋、胎内月輪(彫刻)、壁扉画(絵画)、鳳凰(工芸)が各部門で国宝指定されています。
- ・1994年(平成6)、ユネスコの世界文化遺産「古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)」に構成遺産17件の一つとして登録されました。
- ・1990年(平成2)から発掘調査および庭園整備、鳳凰堂の建造物修理等が行われました。科学調査の結果、過去の修復で使われた「鉛丹」でなく「丹土」でお堂の外壁が塗り直され、創建当初の色が蘇りました。



鳳凰堂の内部(本尊・阿弥陀如来坐像と天蓋／雲中供養菩薩像 いずれも国宝)

みどころ／展示構成

プロローグ 平等院の開創

平等院は、『源氏物語』の主人公・光源氏のモデルとなった源^{みなもとの}融^{とのおる}がかつて所有した別荘地に開創されました。その経緯を物語る《平等院旧起》などの文書、当初の遺構を伝える古瓦、鳳凰堂建立以前の本尊・大日如来像のものと推測される右手部分など展示し、平等院開創期に思いを馳せます。



伝土佐光則《源氏絵鑑帖》より〈橋姫〉江戸時代（16～17世紀）宇治市源氏物語ミュージアム蔵
※前・後期で場面替

第一部 鳳凰堂の美

現世の極楽として造られ、平安の美意識を今に伝える鳳凰堂の姿を紹介します。あわせて創建期の様子を再現しようと後世の画家や彫刻家、工芸家らが力を尽くした復元模写・模造（飾金具・天蓋・本尊台座納入品・鳳凰堂壁扉画・室内彩色 等）の展示を通じ、当初の鳳凰堂の壮麗な姿を思い描きます。

荒木恵信《日想観図 想定復元模写》平成24年（2012） 平等院蔵



国宝《雲中供養菩薩像》が新潟に！ 前・後期2 軀ずつ展示

鳳凰堂の四方の壁に懸かる国宝《雲中供養菩薩像》（全52軀）は、堂内中央に位置する本尊・阿弥陀如来坐像（国宝）と同じく、定^{じょう}朝^{ちよう}工房によって製作されたと考えられています。極楽浄土の阿弥陀を讃えるため阿弥陀に向かって飛翔する姿、あるいは阿弥陀とともに人々を救うため来迎した姿をあらわしており、飛雲に乗り、楽器を演奏したり舞を舞ったりするなど変化に富みます。通常は堂内あるいは平等院ミュージアム「鳳翔館」で拝観できますが、今回は普段平等院でも公開されていない4 軀の国宝が寺外で公開される貴重な機会です。



左から、南14号・北1号（前期：4/23～5/15展示）、北13号・南1号（後期：5/17～6/5展示） いずれも 天喜元年（1053） 平等院蔵

第二部 祈りの心

平等院と塔頭に伝わる仏像や神像を紹介するとともに、各時代、各階級の人々が平等院に信仰を寄せ、支えてきた足跡をたどります。『平家物語』の鶴退治^{つるえ}で知られ、源平の争いのなか平等院で最期を迎えた源^{みなもとの}頼^{より}政^{まさ}の肖像や、明治時代に岡倉天心^{おかぐらてんしん}の指導の下に行われた《雲中供養菩薩像》等の修理に関する貴重な資料も展示します。

宇治市指定文化財《伝帝釈天立像》 平安時代（11世紀） 浄土院蔵



第三部 守り、語り継ぐ—浄土院の収蔵品を中心に

養林庵書院襖絵をはじめとする塔頭・浄土院の収蔵品を中心に、近世以降の平等院の歩み、継続中の調査による近年の発見を紹介します。現代未来に浄土信仰を伝えてゆく可能性の例として、現代美術家・山口晃による襖絵《当昔来迎図》^{とうせいらいこうず}を寺外初公開します。

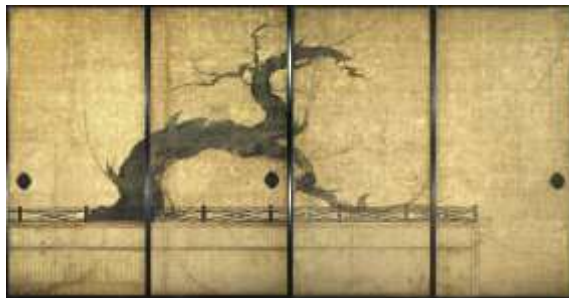
会期中のイベント

※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントの実施内容を変更または中止する場合がございます。
※最新の情報は当館ウェブサイトやツイッター等でご確認ください。

【事前申込が必要なもの】

◇講演会1「平等院 美と信仰の軌跡」

4月23日(土) 14:00～15:30 当館講堂
講師：神居文彰氏(平等院住職)
定員：先着80名 要事前申込 聴講無料
要観覧券(半券可)



宇治市指定文化財 伝狩野山雪《籬に梅図(養林庵書院襖絵)》
江戸時代(17世紀) 浄土院蔵 ©平等院

◇講演会2「和様成立 一平等院鳳凰堂の仏像一」

5月28日(土) 14:00～15:30 当館講堂
講師：山本勉氏(鎌倉国宝館長、清泉女子大学名誉教授、東京国立博物館名誉館員)
定員：先着80名 要事前申込 聴講無料 要観覧券(半券可)

講演会の申込方法：電話またはメール(定員になり次第、締め切ります)

●TEL：0258-28-4111(9:00～16:00、土日受付可)

参加希望イベントの開催日・イベント名・氏名・電話番号をお伝えください。

●E-mail：ngt503040@pref.niigata.lg.jp

件名に「講演会 4月23日」「講演会 5月28日」のいずれかを明記してください。メール本文に氏名・電話番号を記入してください。近代美術館からの返信メールをもって受付完了のお知らせとなります。

◇トーク&ミニコンサート「いにしえから現代へ」 ※(公財)長岡市芸術文化振興財団 連携事業

4月28日(木) 開場13:30 開演14:00 当館講堂
出演：アンサンブル・オビリー(弦楽四重奏) 解説：長嶋圭哉(当館学芸員) ナビゲーター：TeNYアナウンサー
定員：先着80名程度(先着順) 未就学児入場不可 要事前申込 参加無料 要観覧券(半券可)

申し込み方法：電話のみ(定員になり次第、締め切ります)

●TEL：0258-28-4111(3月23日(水) 10:00受付開始)

参加希望イベントの開催日・イベント名・氏名・電話番号をお伝えください。

【事前申込が不要のもの】

◇学芸員による10分間ミニトーク

5月1日(日)・15日(日)・29日(日) 各日10:30～/11:00～/13:30～/14:00～
当館企画展示室ロビー 定員：先着10名 事前申込不要 要観覧券(半券不可) 講師：当館学芸員

音声ガイド・特設ショップ

※予定

1. 音声ガイド 貸出料金：お一人様1台につき600円(税込)
ナビゲーター：声優 梅原裕一郎さん(アーツビジョン所属)、
岡田清子さん(カセットミュージアム所属)
2. 特設ショップ 公式図録(2,500円(税込))、しおり・マスキングテープ・トート
バッグなど関連グッズの他、宇治のおみやげも豊富に取り揃えて
います。フェリシモとコラボしたグッズ(右図は一例)は必見!



「鳳凰が見た極楽の空
時のうつろい
イヤアクセサリー」
2,970円(税込)

問い合わせ先

新潟県立近代美術館 学芸課 担当：[展覧会全般] 長嶋圭哉、松矢国憲 [広報] 飯田美輝夫、金澤健志
〒940-2083 長岡市千秋3丁目278-14 TEL: 0258-28-4113 FAX: 0258-28-4115 E-mail: niigata-kinbi@theia.ocn.ne.jp
URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/> Twitter & Instagram @niigata_kinbi